

2019年度 学位記授与式 学長式辞

卒業生の皆さん、ご卒業まことにめでとうございます。4年間、講義、ゼミ、実習等に懸命に取り組み、実践力を身に付けられた上での成果であり、我々、こども教育宝仙大学の教職員一同、心からお喜び申し上げます。

保護者の皆様も、ご息子ご息女の卒業を、心待ちにされていたことと思います。しっかりと学ばれ社会人として門出を迎えられます。心からお祝いを申し上げます。

本年も桜の季節を迎えました。東京での開花は、全国トップの3月14日で、統計開始以来最も早い開花となりました。宝仙寺の桜は更に早く11日に開花しました。各所で桜が咲き誇る中、このよき日を迎えております。

ただ、今年は少し様相が異なります。新型コロナウイルスの影響で、人の活動が制限され、行事も縮小を余儀なくされています。プロ野球、大相撲は無観客で開催され、センバツ高校野球は中止となりました。マンモス大学では卒業式を中止するところが多い中、本学では、規模を縮小することで、何とか学位記授与式を挙行することと致しました。卒業生の皆さんの晴れ姿を教職員一同でお祝いし、そして門出を見送りたいという、強い思いからでございます。

保護者の皆様には、誠に申し訳ありませんが動画配信とさせていただきました。ご臨席賜りたいとの思いは我々も同じなのですが、事情をご賢察の上、動画を通じてお子様の晴れ姿を眺めていただければと思っております。

また、ご来賓の皆様にも、残念ながら本日はご遠慮いただいております。卒業後に皆さんが加入される、卒業生の会「あかつき会」からは卒業記念品とともに、会長から「卒業生皆様にとりまして輝かしき新たな日々となりますよう、お祈り致します」とのメッセージをいただいております。仏教保育協会保母養成所、宝仙学園短期大学から続く、90年の伝統と信頼のある本学ですので、多くの先輩方が皆さんを歓迎してくれています。保育業界や、それぞれが選ばれた道で、思い切ってご活躍いただきたいと思っております。

実践力をはぐくむ教育と、「保育の宝仙」への信頼に加えて、もう一つの本学の特徴である、寄り添う教育に関しましては、皆さんひとり一人に、アドバイザーの先生方から、メッセージをいただいています。一部ご紹介させていただきます。

J.A.さんへ、葛西先生から「音楽の喜びを忘れずに、社会で活躍して下さい」。R.O.さんへ、林先生から「あなたの明るさが今後もきっと強い武器になるはずです」。M.S.さんへ、宇佐美先生から「これからも、早寝早起き朝ごはん、を合言葉に頑張りましょう」。S.T.さんへ、今井先生から「卒論・就活・食育おやつマイスターに、生き生きと取り組んでいました」。M.H.さんへ、捧先生から「学生広報サポーターとして大学広報に貢献してくれました」。Y.M.さんへ、青木先生から「卒論で得た子どもから学ぶ姿勢を大切にしてください」。T.Y.さんへ、松岡先生から「学業とサークル、マイスター取得と充実した学生生活、お疲れ様でした」。M.Y.さんへ、石原先生から「自分が幸せになるうとすることを通して、子供たちと幸せへのカギを探してください」。

皆様全員にアドバイザーの先生からメッセージがございます。気持ちのこもったメッセージです。全てご紹介しようと思ったのですが、縮小した学位記授与式ですので、一部のご紹介とさせていただきます。皆様へのメッセージは、式終了後にお渡ししますので、楽しみにして下さい。

私からのメッセージは、「社会人としての第一歩をしっかりと踏み出し、この頃のことを覚えておいて下さい。」というものです。新型コロナウイルスにパンデミック宣言が出され、世界は誰もが先行きの読めない状況になっています。言わば、皆さんは、荒海の中に船出されようとしています。幼稚園、保育園等に就職される方は、園児に感染させる訳にはいきません。細心の注意を払いましょう。一般企業に勤める方は、人の流れ、物の流れが止まり、企業自体も先行きが見通せない状況だと思えます。職場の先輩方と協力して状況を打開していく必要があります。でもこの困難を、社会は必ず克服します。その社会の一員として、実体験の中で多くを学んで下さい。

本学を卒業される皆さん全員は、こども教育宝仙大学のディプロマポリシー、学位授与基準を満たしています。それは、人と「円滑なコミュニケーションができる」、今回のような「変化に、即した判断ができる」、「知識や技法を絶えず向上させようと努力することができる」というものです。これらを認定したからこそ、本日、皆さんに学位を授与させていただきました。学位で裏付けられた4年間の成長に自信を持ち、職場の先輩方と共に、現在の困難に立ち向かって下さい。必ず道は開けます。そして皆さんを更に成長させると思えます。

本日は、少し変則的な、学位記授与式になりました。でも後から振り返ると、思い出深いものとなることでしょう。大学を卒業し社会に出る頃、言ってみれば「コロナショック」があり、学校には行けず、株価は大暴落、経済也大混乱した。でも時が経ち、人々は色々な工夫を重ねて克服した。自らもこんな努力をした。このようなことをしっかり覚えておいて下さい。

そしてその頃のことを思い出したくなったら、本学を訪ねてみて下さい。先程の暖かいメッセージをいただいた先生方も含め、教職員一同大歓迎致します。

こども教育宝仙大学は、皆さんにとって永遠の母校です。

それでは、皆さんの益々のご活躍を心から祈念し、学位記授与式の式辞とさせていただきます。

2020年3月19日 こども教育宝仙大学 学長 太田誠一